

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	2 CRUEL		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		

テストボール：2 CRUEL

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

5

番

研磨剤

比較対照ボール：CRUEL

フレアーの幅 インチ

表面加工

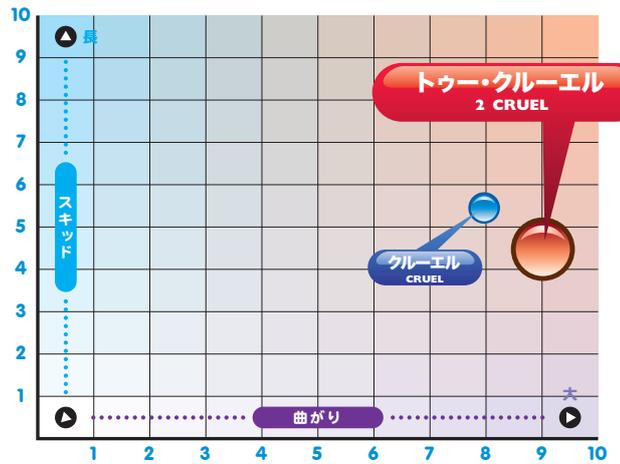
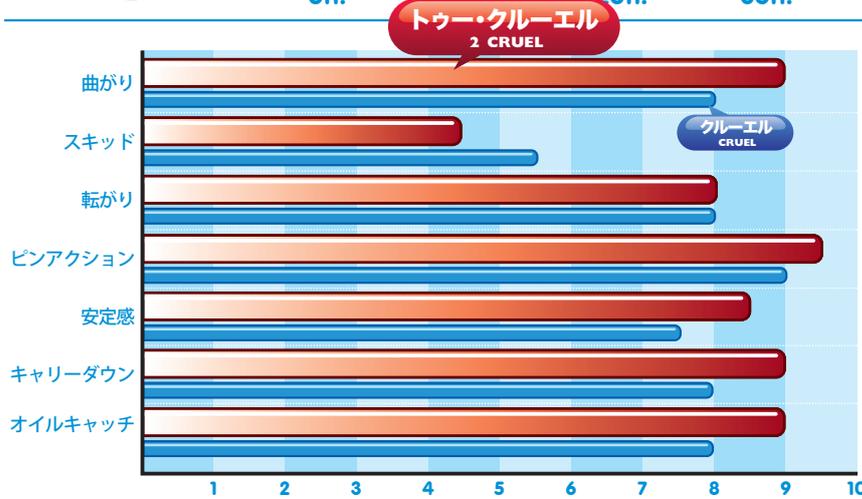
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4

番

研磨剤



ボールの評価

”進化”と表現すべきなのか、それとも”革命”というべきか。

この”2 CRUEL”はCRUELの後継としてリリースされますが、現代のテクノロジーを加味したうえで「どのような性能こそがハイパフォーマンスと成りえるのか」という、多くのボウラーとイメージを共有するためにMOTIV社の概念と拘りを変えた取り組みが”2 CRUEL”に表されています。カバーストック進化で、よりキャッチするカバーと最大値とされる $\Delta RG(0.060)$ と $IntDiff(0.030)$ 「CRUEL参照」という組み合わせは必要以上の早期のリアクション移行とオーバーリアクションを招きます。今回MOTIV社がCRUELコアからSinisterコアに変え、数値を下げてきたのもカバーのキャッチとコアとのバランスを取り、リアクションへとつなげるためでしょう。私が投げたイメージでは、今までのMOTIV社よりも簡単に曲がりやすくなっていると感じたのが第一印象で、相当量の手前のオイルでも対処でき、キャリアダウンの影響度はかなり少ない圧倒的な曲りを得ることができました。

今回私が試したレイアウトはPin-PAP 5 in, PAP-Mass 4 inのピンダウンですが、これでも強いと感じてしまうほどです。スピードのある方や回転数が少なめの方はこれぐらいでレイアウトで、上記以外であればまだレイアウトを抑えてもしっかりと曲がってくれるでしょう。またMOTIV社初である「柑橘系フレグランス」カバーも新しい取り組みの一つです。

今まで曲がるボールをお探しの方でMOTIV社のボールを使われていない方は多いと思います。実際に使ってみてMOTIV社のファンになった方も多く、MOTIV社のボールだけを好んで使われている方も多いほどです。今回のこの”2 CRUEL”は曲りを求める方には是非使用して頂きたいボールです。

特記事項

待ち望んでいたハイパフォーマンス系CRUELの後継機の2 CRUEL。
WhiplashカバーとSinisterコアとのコラボレーションはMOTIV社最強とも言える組み合わせです。